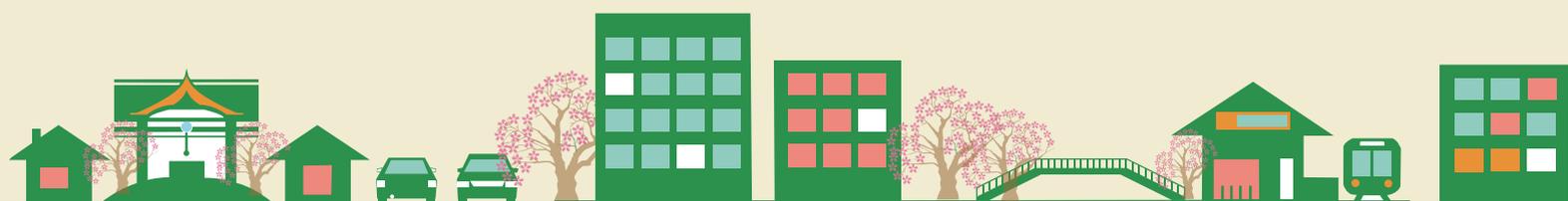


飯田橋駅東口周辺地区
まちづくり構想



平成31年3月

飯田橋駅東口周辺地区まちづくり協議会

飯田橋駅東口周辺地区 まちづくり構想

目 次

第1章 まちづくり構想について	
1 ■まちづくりの契機	1
2 ■まちづくり構想とは	1
3 ■まちづくり構想の検討区域	2
第2章 まちの現況と課題	
1 ■まちの歴史	3
2 ■地区の現況	3
3 ■地区の課題	5
4 ■課題のまとめ	8
第3章 まちづくりの基本方針	
1 ■まちづくりの目標と方向性	9
第4章 テーマ別まちづくりの方向性	
4-1 飯田橋駅東口と周辺のまちづくり	
1 ■飯田橋駅東口周辺の再整備について	11
2 ■飯田橋駅東口周辺の歩行者・交通動線について	13
4-2 幹線道路沿道のまちづくり	
1 ■放射第25号線について	15
2 ■大久保通り・目白通りについて	17
4-3 暮らしやすいまちづくり	
1 ■生活道路について	19
2 ■暮らしやすさについて	20
3 ■まちの歴史や文化、特色について	21
4 ■防災について	22
第5章 まちづくり構想の実現に向けて	
1 ■まちづくり構想の実現に向けた取組	24
<参考資料>	
1 ■上位計画	25
2 ■基礎データ	26
3 ■飯田橋駅東口周辺地区まちづくり協議会会則	27
4 ■飯田橋駅東口周辺地区まちづくり協議会の活動経過	28
5 ■まち歩きでの意見	29
6 ■まちづくり構想(案)に関するアンケート調査結果の概要	31

1 ■まちづくりの契機

飯田橋駅東口周辺では、JR飯田橋駅のホーム移設工事や放射第25号線の開通により、まちを取り巻く状況が変化しています。また、大きな病院や公共施設などが立地しているにも関わらず、駅や駅とまちを行き来する動線のバリアフリー対応が遅れていることや五差路の歩道橋の老朽化、鉄道間の煩雑な乗換え動線などが課題となっています。

■飯田橋駅東口



■放射第25号線



■五差路の歩道橋



2 ■まちづくり構想とは

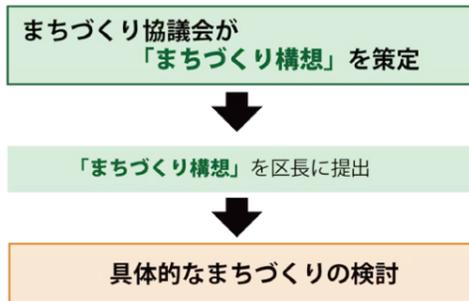
このような状況の中、平成29(2017)年4月に検討区域内 (P2参照) に土地・建物を所有する方、お住まいの方、営業している方等で構成する「飯田橋駅東口周辺地区まちづくり協議会」(以下、「まちづくり協議会」) を設立し、まちの現況や課題を整理するとともに、まちづくりの目標や方向性について検討してきました。

「飯田橋駅東口周辺地区まちづくり構想」(以下、「まちづくり構想」) は、これまで協議会において検討してきたまちの目標や方向性をまとめたものです。今後、地元、新宿区、東京都、鉄道事業者等が調整を図りながら、まちづくり構想の実現に向けた取り組みを進めていくことを期待し、区へ提出するものです。

■飯田橋駅東口周辺地区まちづくり協議会の様子

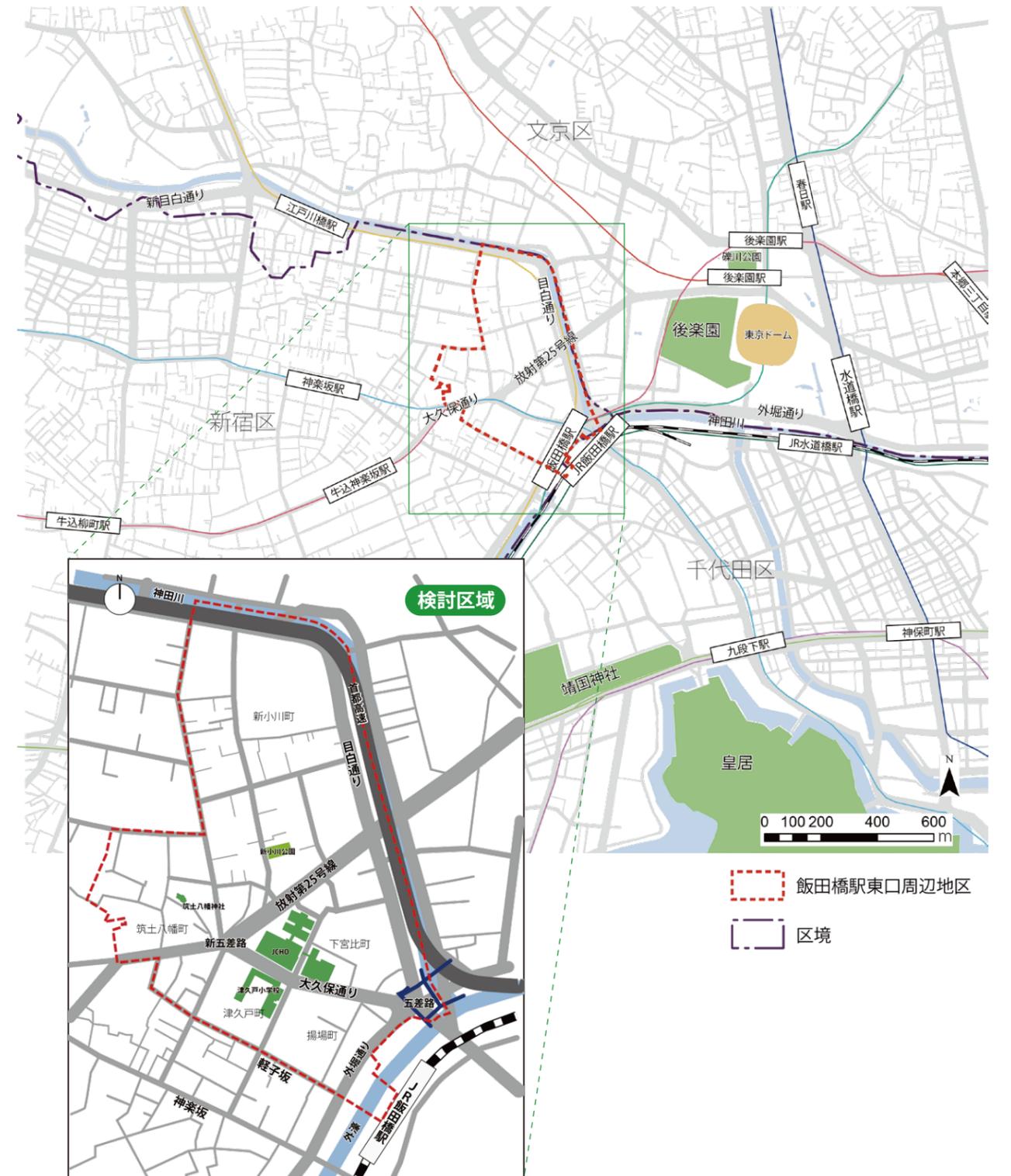


■まちづくり構想策定後の流れ



3 ■まちづくり構想の検討区域

まちづくり構想を検討した「飯田橋駅東口周辺地区」の区域は、津久戸町、筑土八幡町、新小川町、下宮比町、揚場町の全域及び神楽河岸の一部からなる26.7haの範囲で、千代田区、文京区に隣接した地区です。



1 ■まちの歴史

新宿区は昭和22(1947)年3月15日に、四谷区・牛込区・淀橋区が合併し誕生しました。飯田橋駅東口周辺地区は牛込区にあたり、古代に牛馬の牧場があったことから「牛込」という地名がついたとされています。江戸時代には多くの武家屋敷が立ち並び、現在の飯田橋駅付近の堀には、「牛込揚場」と呼ばれる荷上げ場がありました。

明治以降は市街化が進み、隣接する神楽坂を中心とする商業地になるとともに、神田川の水利を求めて製紙工場が進出したことで、以降、印刷業・出版業の事業所が多く立地するようになりました。

戦後は、大空襲による焼野原から復興を遂げます。

現在では、飯田橋駅周辺や外堀通り沿道を中心に、業務商業施設が集積していますが、一方で、外濠や寺社、坂道などの歴史や文化が感じられる地域となっています。



2 ■地区の現況

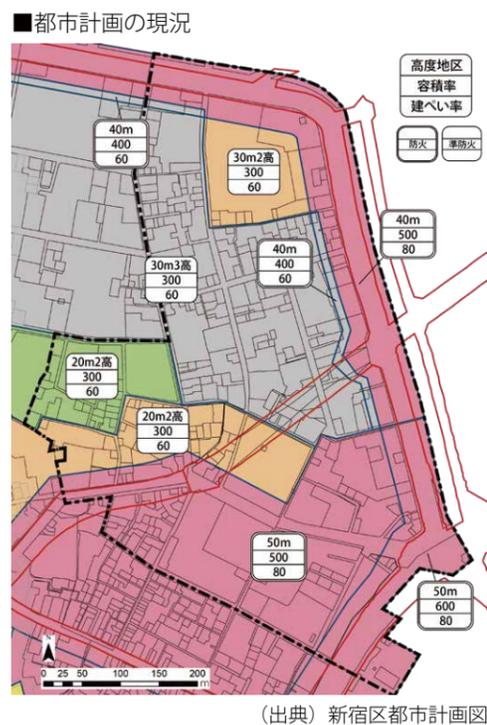
●都市計画

①用途地域

飯田橋駅に近い津久戸町、下宮比町、揚場町は主に商業地域となっており、商業・業務施設が多く立地しています。一方、筑土八幡町や新小川町は主に第二種住居地域や準工業地域となっており、地場産業でもある印刷業・出版業の事業所と住宅が混在した地域となっています。

②都市計画道路

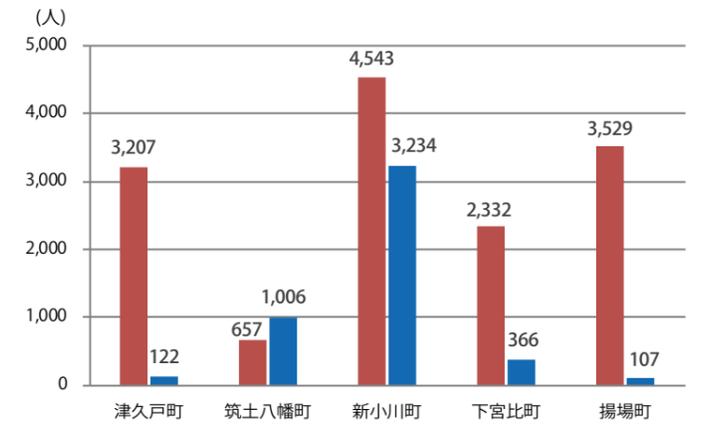
当地区の中央を走る放射第25号線(新小川町間)は、幅員30m、延長280mの都市計画道路で、平成28年3月に開通しました。放射第25号線は、新宿7丁目を起点に、文京区本郷2丁目に至る道路であり、現在、筑土八幡間(津久戸町から北町)が事業中となっています。



●人口構成

当地区は、商業・業務系の建物が多いことから、昼間人口と夜間人口の差が大きく、特に、飯田橋駅に近い津久戸町、下宮比町、揚場町は昼間人口が夜間人口を大きく上回っています。

■町丁目別昼夜間人口

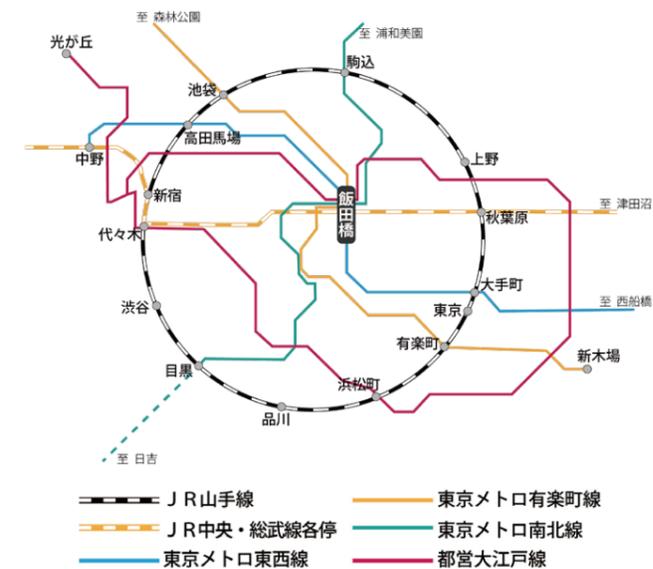


(出典) 東京都の統計 平成27年国勢調査による東京都の昼夜間人口

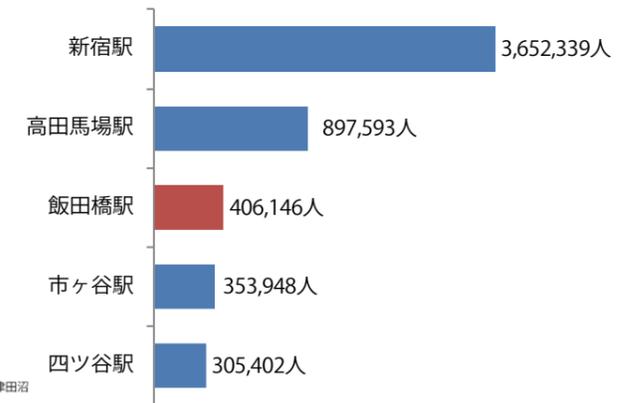
●鉄道網

飯田橋駅は、1日の乗降客数が40万人を超える乗換駅となっており、区内では新宿駅、高田馬場駅に次ぐ規模となっています。また、JR中央線・総武線各駅停車、東京メトロ東西線、有楽町線、南北線、都営大江戸線の5路線が乗り入れており、各方面へのアクセスが便利な地域となっています。

■飯田橋駅を通る鉄道路線



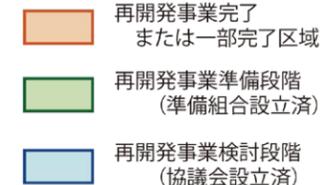
■区内主要駅の乗降客数



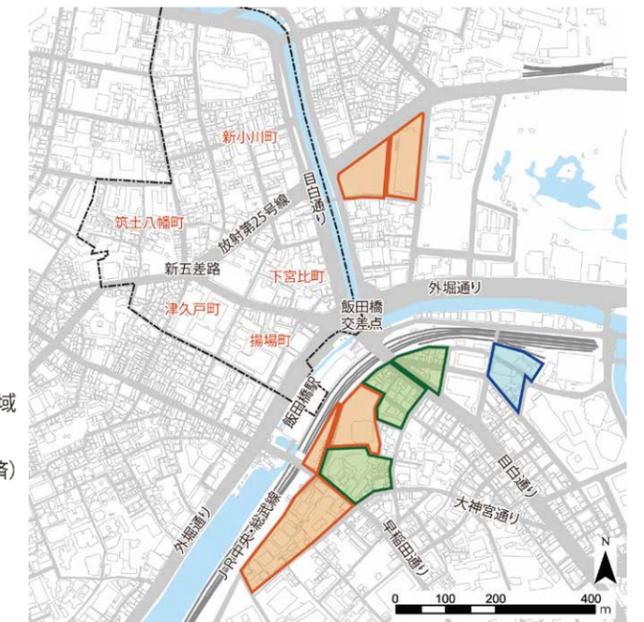
(出典) グラフ新宿区 資料編2017

●地区周辺の開発動向

飯田橋駅東口周辺のうち、千代田区や文京区では複数の再開発が完成又は事業中です。



■周辺の再開発の進捗状況



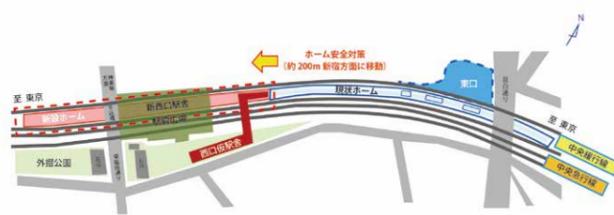
3 ■ 地区の課題

① 飯田橋駅周辺の課題

● JR飯田橋駅のホーム移設による人の流れの変化

- ・JR飯田橋駅は、2020年までに現在のホームを新宿方向に約200m移設する計画となっています。
- ・東口改札から新しいホームまでの距離が長くなることで、人の流れが変化することが懸念されます。

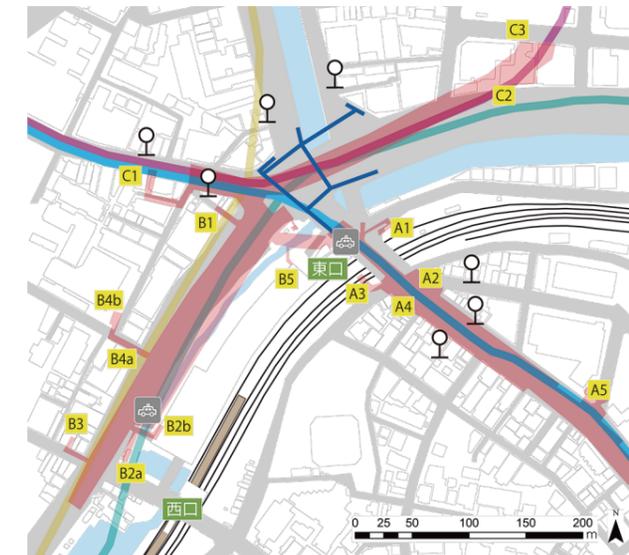
■ JR飯田橋駅改良平面図



● 煩雑な乗換え動線

- ・JR線と地下鉄との乗換え改札がないことや、地下通路が枝分かれしていることで、乗換えが煩雑になっています。
- ・鉄道間の乗換えやバス・タクシー乗り場へのバリアフリー動線が十分に整備されていません。

■ 飯田橋駅東口周辺の現況



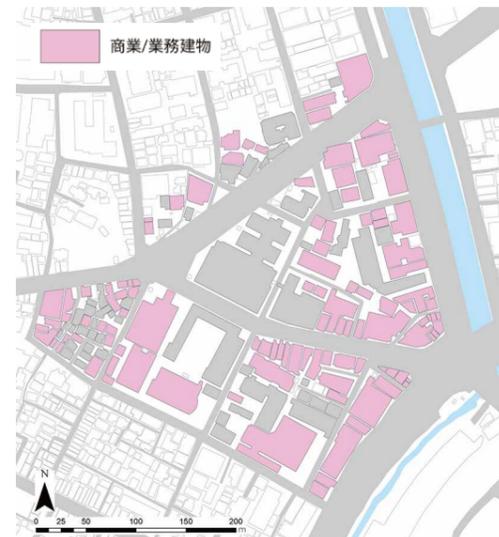
● バリアフリー対応が不十分な五差路

- ・飯田橋五差路の歩道橋はエレベーターやエスカレーターがなく、バリアフリーに対応していません。高齢化についても懸念されています。
- ・駅からまちへ向かう人であふれています。
- ・下宮比町には地下鉄の出口がなく、地下から直接まちにアクセスできません。

● 駅周辺の建物の老朽化

- ・駅周辺には商業・業務を中心とした建物が集積しています。更新時期を迎えている建物も多く、防災性が懸念されています。

■ 飯田橋駅周辺の商業/業務建物分布



● 駐車場・駐輪場の不足

- ・幹線道路が交差する自動車交通上の要所ですが、大規模な駐車場がほとんどありません。
- ・歩道上には放置自転車が多く見られます。

● 震災時の帰宅困難者対策

- ・駅周辺は、商業・業務系の建物が多く来街者も多いことから、震災時に帰宅困難者が発生することが想定されます。

② 幹線道路沿道の課題

● 放射第25号線及び新五差路における安全な横断のための環境整備

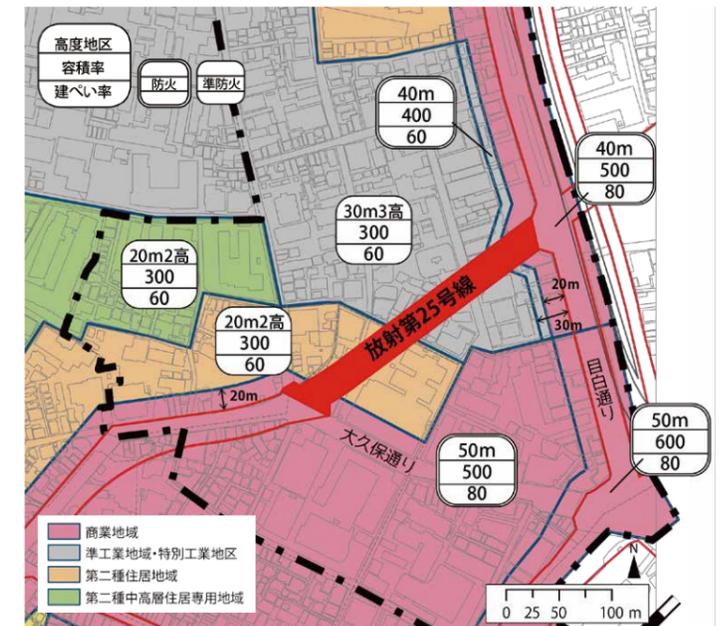
- ・信号を無視して横断する人や、横断歩道のない場所で横断する人が見られます。
- ・高齢者や通学する児童等が安心して横断できる環境の整備が不十分です。
- ・歩行者のたまり空間が少なく、混雑時には信号待ちの人があふれています。



● 統一感のない放射第25号線沿道のまちなみ

- ・放射第25号線は、現道のない区間で整備されたため、沿道が整った賑わいあるまちなみになっていません。
- ・沿道で同じ用途地域に指定されていないため、建物の建替えが進んでも統一的なまちなみ形成とならない可能性があります。

■ 放射第25号線沿道の用途地域



(出典) 新宿区都市計画図

■ 放射第25号線沿道のまちなみ



● 大久保通り・目白通りの手狭な歩行空間

- ・地区の主要な幹線道路となっていますが、歩道が狭く通勤や通学、通院の方で混雑しています。
- ・歩道にはみ出した看板や放置自転車により、歩行空間が狭められています。



大久保通り



目白通り



歩道に放置された自転車

朝の通勤・通学者で混雑する大久保通り・目白通り

③ 防災・みどり・暮らしやすさの課題

● 生活道路における歩行者の安全性の更なる向上

- 地区内の生活道路の多くは幅員が6m以上ですが、4m程度の狭い道路もあります。
- 電柱や放置自転車等により歩行空間が狭められ、十分な歩行空間が確保されていません。



電柱や放置自転車により歩行空間が狭くなっている

● 広場や店舗などの生活利便施設の不足

- 高齢者や子どもが憩えるようなみどりの多い広場等が不足しています。
- 新小川町の商店街では店舗が徐々に減ってきており、日常の買い物が不便になっています。
- 大きな病院があるものの、クリニック等の小規模な病院が少ない状況です。

● 歴史資源の周知と活用

- 地区内に存在する歴史資源は、あまり周知がされておらず、活用がされていません。



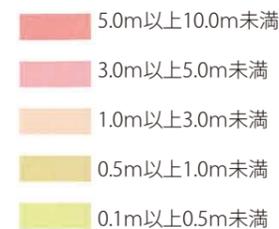
筑土八幡神社

津久戸小学校

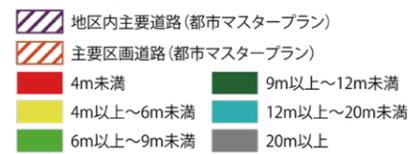
● 防災対策の充実

- 災害時における安全確保のため、オープンスペース等の確保が必要です。
- 神田川や外濠沿いは区内でも最も標高の低い場所となっており、豪雨の際に浸水被害が想定されています。

浸水した場合想定される水深



■ 道路幅員



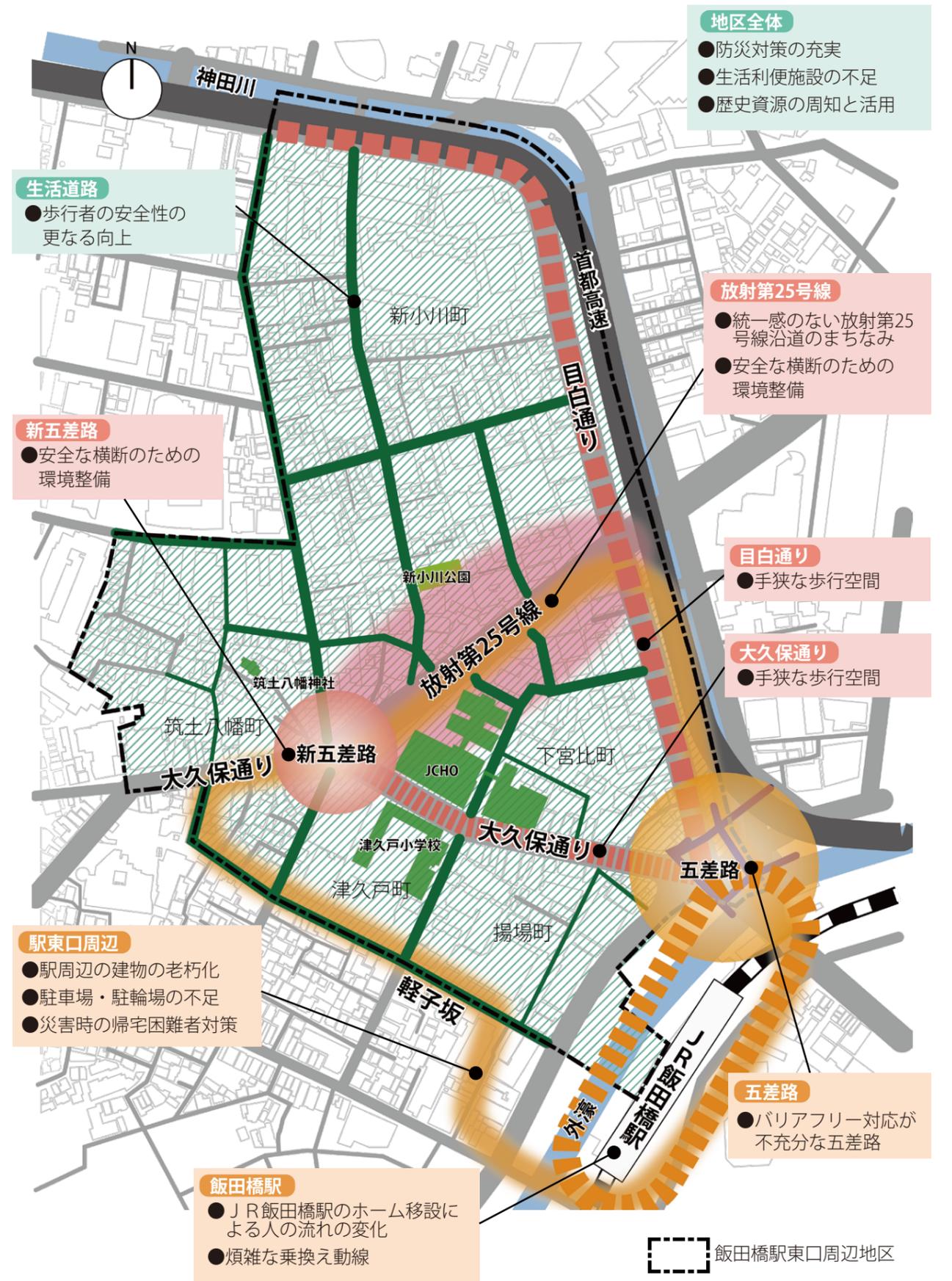
(出典) 新宿区道路台帳平面図

■ 洪水ハザードマップ



(出典) 新宿区洪水ハザードマップ 平成30年2月版

4 ■ 課題のまとめ



地区全体

- 防災対策の充実
- 生活利便施設の不足
- 歴史資源の周知と活用

放射第25号線

- 統一感のない放射第25号線沿道のまちなみ
- 安全な横断のための環境整備

目白通り

- 手狭な歩行空間

大久保通り

- 手狭な歩行空間

五差路

- バリアフリー対応が不十分な五差路

飯田橋駅

- JR飯田橋駅のホーム移設による人の流れの変化
- 煩雑な乗換え動線

駅東口周辺

- 駅周辺の建物の老朽化
- 駐車場・駐輪場の不足
- 災害時の帰宅困難者対策

新五差路

- 安全な横断のための環境整備

生活道路

- 歩行者の安全性の更なる向上

飯田橋駅東口周辺地区

1 ■まちづくりの目標と方向性

まちづくりの課題を踏まえ、飯田橋駅東口周辺地区を3つのテーマに分け、テーマごとのまちづくりの目標と方向性を、以下のとおりとします。

テーマ1 飯田橋駅東口と周辺のまちづくり

目標：**使いやすく、魅力あふれるこれからのまちづくり**

地区の抱える課題を解決し、地区全体に多様な人が訪れる魅力的なまちづくりを進めるとともに、交通基盤施設の整備を検討する必要があります。

1 ■駅東口周辺の再整備について

- 方向性1 ●地域の良さを活かした、活気あふれるまちづくり
- 方向性2 ●利便性と楽しさを両立した、魅力ある拠点づくり
- 方向性3 ●地元主体で考え、関係機関等と連携しながら進めるまちづくり

2 ■駅東口周辺の歩行者・交通動線について

- 方向性1 ●駅とまちをつなぐ機能の強化
- 方向性2 ●乗換えが誰でも簡単にできる動線の確保
- 方向性3 ●周辺との回遊性の強化

テーマ2 幹線道路沿道のまちづくり

目標：**人にやさしく、うるおいあるまちなみづくり**

放射第25号線及び大久保通り・目白通りでは、安全でゆとりある歩行空間の確保等の検討を行うとともに、放射第25号線では、統一感のあるまちなみの形成や、みどりのある道路空間の検討が必要です。

1 ■放射第25号線について

- 方向性1 ●歩行者が安全に横断できる動線の確保
- 方向性2 ●統一感のあるまちなみの形成
- 方向性3 ●道路空間の活用

2 ■大久保通り・目白通りについて

- 方向性1 ●安全でゆとりある歩行空間の確保

テーマ3 暮らしやすいまちづくり

目標：**歴史を活かした、安全・安心のまちづくり**

ゆとりある道路空間づくりや災害への備えなど、安全・安心で暮らしやすいまちを目指すとともに、神田川や外濠などの特色、歴史や文化をまちづくりに活かしていくことが必要です。

1 ■生活道路について

- 方向性1 ●安全に通行できる空間の確保
- 方向性2 ●安全な歩行環境の形成

3 ■まちの歴史や文化、特色について

- 方向性1 ●歴史や文化を活かしたまちづくり
- 方向性2 ●まちの歴史や魅力の再確認と発信
- 方向性3 ●神田川や外濠の水辺空間の再生

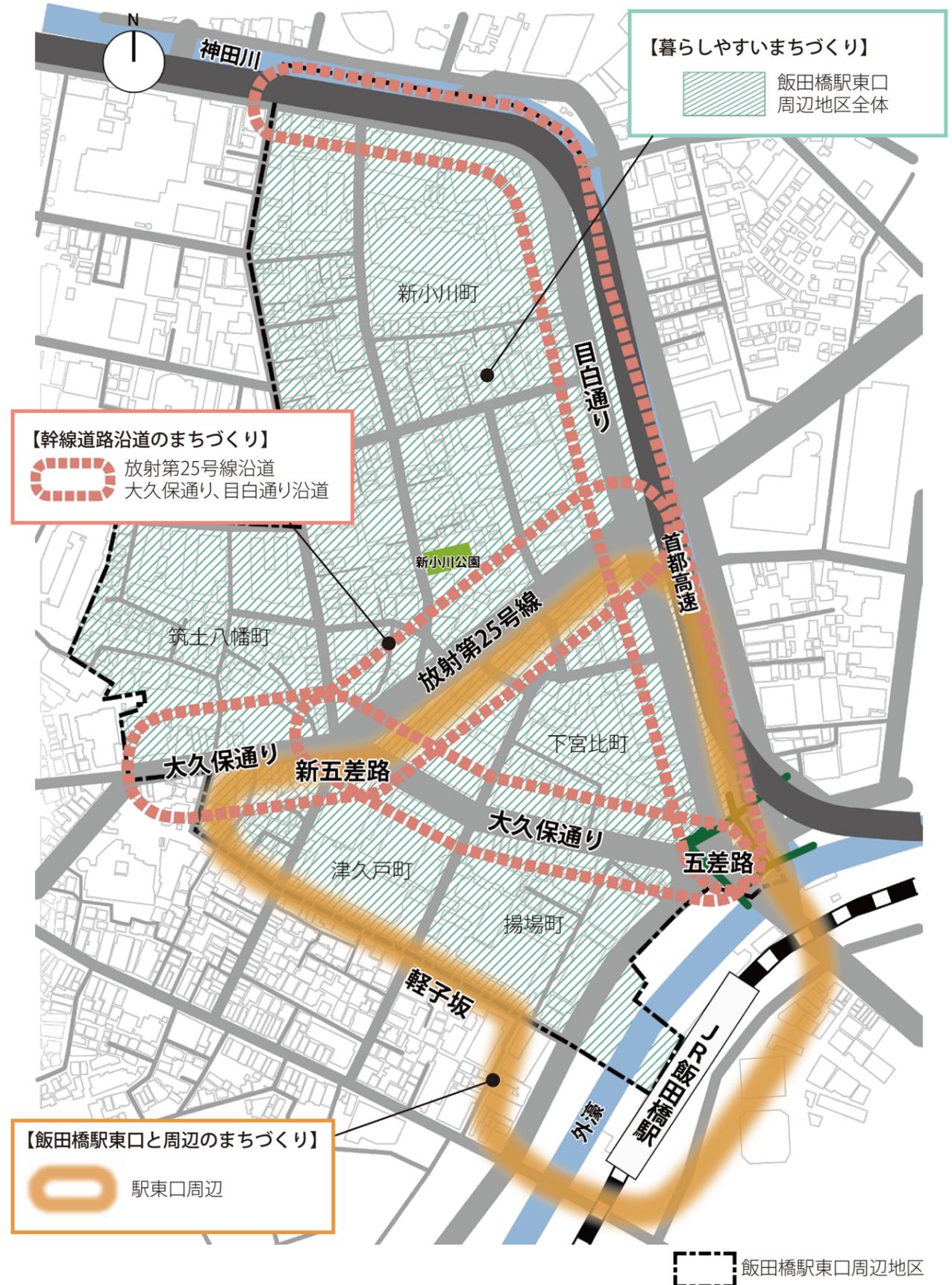
2 ■暮らしやすさについて

- 方向性1 ●多世代が交流する憩いの空間の整備
- 方向性2 ●生活利便性を支える施設の立地誘導

4 ■防災について

- 方向性1 ●災害に強いまちづくりの推進
- 方向性2 ●安全に避難できる体制づくり
- 方向性3 ●帰宅困難者の受け入れ対策

■テーマ別検討範囲図



4-1 飯田橋駅東口と周辺のまちづくり

1 ■ 飯田橋駅東口周辺の再整備について

地区の抱える課題を解決し、地区全体に多様な人が訪れる魅力的なまちづくりを進めていきます。駅周辺では再開発等を活用した再整備が求められています。

方向性1 ● 地域の良さを活かした、活気あふれるまちづくり

老朽化した建物を更新し、商業施設やオフィス、良質な住宅を誘導することで、商業・業務・住宅のバランスがよい、活気あふれるまちを目指します。

再整備にあたっては、小学校・病院などの公共施設、隣接する神楽坂や外濠・神田川の水辺空間などの地域の良さを活かしたまちづくりを検討します。

協議会等での意見より

- ▼ 地区の特徴である、病院・小学校・外濠を活かしたまちとしていきたい
- ▼ 商業・オフィスを中心とし、良質な住宅がバランスよく配置されたまちを目指したい
- ▼ 駅と筑土八幡神社とをつなぐ緑の軸ができるとうよい

■ 地域の良さを活かしたまち (JCHO、津久戸小学校、外濠)



方向性2 ● 利便性と楽しさを両立した、魅力ある拠点づくり

誰もが楽しめる賑わい施設や広場などを整備します。また、保育所等の福祉施設、災害時の帰宅困難者を受け入れる施設などを設置することで、楽しさと利便性を両立した魅力ある拠点をつくります。

駅前の整備に伴い、駅と新五差路とをつなぐ歩行者軸の形成、一般車両や物流のための駐車場整備などの自動車交通のネットワークづくりも必要となります。

協議会等での意見より

- ▼ 外国人も訪れる文化施設やエンターテインメント施設など魅力ある施設を導入したい
- ▼ 地域のニーズに応じた駐輪場の整備が必要である
- ▼ 外濠を活用した、クルージングの乗り場などができるとよい

方向性3 ● 地元主体で考え、関係機関等と連携しながら進めるまちづくり

再開発等にあたっては、地元権利者が主体となり、まちづくりを検討する必要があります。また、駅周辺の再整備にあたっては行政や鉄道事業等と連携しながら進める必要があります。

協議会等での意見より

- ▼ 地元権利者が主体となって事業の仕組みなどを学習しつつ、望ましいまちのあり方について検討すべき
- ▼ 事業性だけでなく、将来のまちの魅力向上に向けた検討を行わなければならない
- ▼ 近隣の大学生など若い人材と連携して、検討を進めたい

事例 市街地再開発の事例

■ 事例① 大田区・糎谷駅前地区



再開発事業に合わせて、駅前広場が新たにつくられました。

■ 事例② 千代田区・飯田橋駅西口地区・飯田橋サクラテラス



千代田区では、関係権利者、町会、事業者等による検討組織が地域の将来像を取りまとめ、それに基づいた再開発が行われています。

■ 事例③ 練馬区・大泉学園北口地区



駅と再開発ビルをペDESTリアンデッキによって直結させ、利便性が良く安全な歩行者動線の整備を行っています。

■ 事例④ 千代田区・富士見二丁目北部地区・飯田橋プラザ



周辺道路の拡幅整備や、敷地内に広場、歩道状空地を整備することで、ゆとりある歩行空間を確保しています。

(出典) 東京都都市整備局資料

4-1 飯田橋駅東口と周辺のまちづくり

2 ■ 飯田橋駅東口周辺の歩行者・交通動線について

飯田橋駅はJR、地下鉄4路線が乗り入れ、一日の乗降客数が40万人を超える乗換駅となっています。しかし、飯田橋五差路の歩道橋やJRと地下鉄駅間の乗換え経路のバリアフリー化が遅れていることなどの課題を抱えており、駅周辺の再開発等とあわせて、交通基盤施設の整備を検討する必要があります。

方向性1 ● 駅とまちをつなぐ機能の強化

駅から各街区へ誰でも安全で円滑に移動ができるよう、再開発等に併せたペDESTリアンデッキや地下通路の設置など、バリアフリー動線の確保が必要です。また、新たに改札口や地下鉄出入口を設置するなど、新たな動線の確保を検討する必要があります。

協議会等での意見より

- ▼ 駅からJCHOまで、特に病院利用者に配慮したバリアフリー経路を確保したい
- ▼ 下宮比町には地下鉄出入口がないので整備したい
- ▼ JRホーム移設に合わせて、ラムラ内の区境ホール付近に飯田橋駅の中央口となる改札を新たに設け、軽子坂方面から容易に駅へとアクセスできるようにしたい

方向性2 ● 誰でも簡単に乗換えができる動線の確保

JRと地下鉄各線への乗換えや、鉄道からバス・タクシーへの乗換えが誰でも簡単にできるように、わかりやすい動線の確保が必要です。

協議会等での意見より

- ▼ JR線及び地下鉄各路線のコンコースから、直接乗換えのできる改札などを整備したい
- ▼ 鉄道から乗換えしやすく、誰もが使いやすいバス乗り場、タクシー乗り場を整備したい

方向性3 ● 周辺との回遊性の強化

駅東口周辺と、神楽坂や新たに整備される西口広場など周辺地域との回遊性の向上や、バリアフリー動線の確保が必要です。

協議会等での意見より

- ▼ 西口方面との行き来が容易にできる動線を整備したい
- ▼ 駅西口や神楽坂と連携したまちとしたい

■ ペDESTリアンデッキの例 (大崎駅)



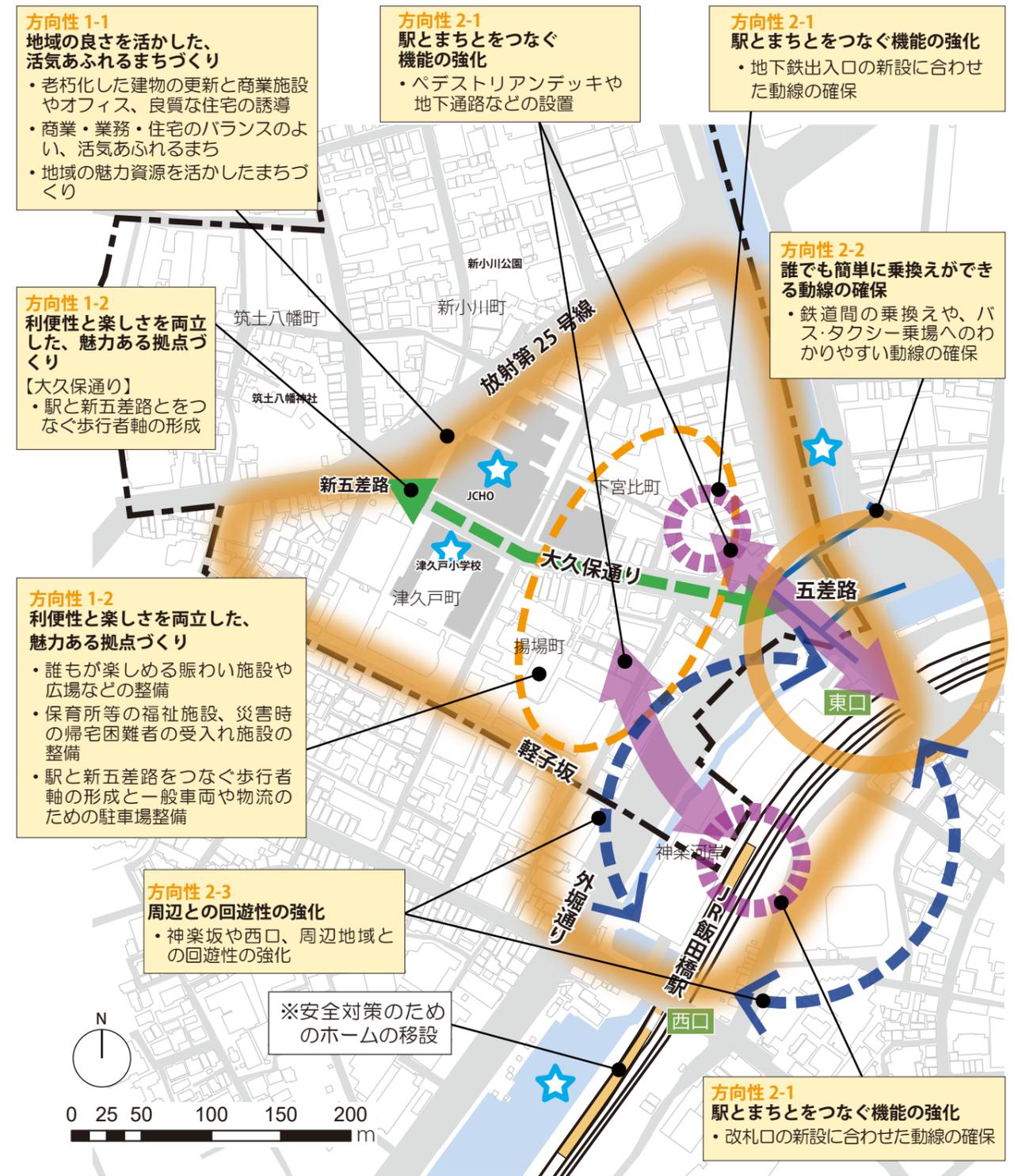
■ 地下通路の例 (新宿三丁目駅)



■ 乗換え動線整備例 (渋谷駅)



■ 使いやすく、魅力あふれるこれからのまちづくりのイメージ



凡例					
	地域の魅力資源 (JCHO、津久戸小、神田川、外濠など)		駅東口周辺		乗換え動線の確保
	駅と新五差路をつなぐ歩行者軸		駅前街区		新たな動線の確保
	ペDESTリアンデッキや地下通路などの設置		周辺との回遊性の強化		周辺との回遊性の強化

4-2 幹線道路沿道のまちづくり

1 ■放射第25号線について

新五差路については、横断歩道が長いことや交差点周辺にたまり空間がないことなどの課題を抱えています。また、魅力あるまちなみの形成のためには、地区にふさわしい建物への建替えを誘導するルールづくりが必要です。

方向性1 ●歩行者が安全に横断できる動線の確保

放射第25号線及び新五差路については、歩行者の安全性や利便性の向上のための検討を行っていく必要があります。

協議会等での意見より

- ▼新五差路の歩行者の安全性確保については、住民として強く望む
- ▼歩行者が安全に横断できる交差点の工夫として、スクランブル交差点やロータリー、デッキ等考えられないか
- ▼放射第25号線（筑土八幡区間）の整備を見据えた交差点対策を行うことを望む
- ▼歩行者のたまり空間に日影となるような屋根や植物を整備するなど、歩行者に優しい交差点を目指したい
- ▼赤信号の横断禁止や横断歩道のない場所での横断禁止の周知の徹底が必要である
- ▼A1を活用した信号機の設置など、自動車と人が効率よく通行できる工夫を検討したい

方向性2 ●統一感のあるまちなみの形成

当地区にふさわしいまちなみを形成するため、用途地域の変更や地区計画等のまちづくりルールの検討が必要です。

協議会等での意見より

- ▼住宅と店舗、事務所等がバランスよく立地したまちなみを目指したい
- ▼放射第25号線の北側にある住宅や店舗・事務所の環境を守りたい
- ▼当地区にあった沿道のまちなみを検討するため、組織を立ち上げ、まちづくりのルールなどを学習しつつ、合意形成を図る必要がある

■沿道のまちなみの例



建物の高さを抑え
店舗が建ち並んだ通り



住宅中心で
低層階には店舗が入った通り



中層の建物が建ち並ぶ
静かな通り

方向性3 ●道路空間の活用

歩行者の休憩スペース等を用意し、歩行者に優しい通りとなることを目指します。また、植込みの設え等を工夫し魅力とうるおある道路環境をつくります。

協議会等での意見より

- ▼植込み等を活用して、特徴ある通りを目指したい
- ▼休憩できるベンチを置くなどして、歩行者に優しい通りを目指したい

■道路空間を活用した例



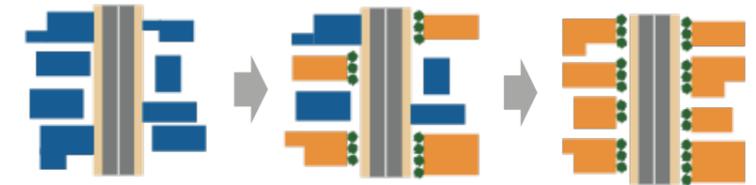
コラム

方向性実現のための手法 ～地区計画～

住民と行政が連携しながら、地区の将来像を実現するための法律に基づくルールとして「地区計画」という制度があります。地区計画では、建物の高さや壁面の位置などについて、都市全体のルールに加えて、地区の実情に合わせたルールをつくることができます。

また、地区計画は、建物等を「建替える時に守るルール」であるため、建替えに合わせて徐々にまちなみを形成していくことができます。

■ルールに合わせた建替えのイメージ



■建替える前の建物 ■ルールに合わせて建替えた建物

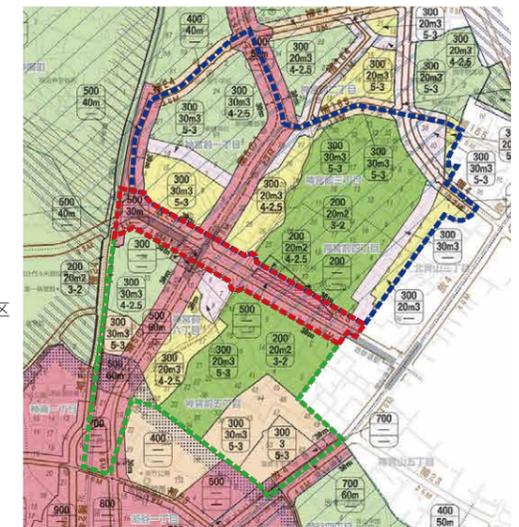
当地区でも、このルールを活用することによって、放射第25号線の沿道のまちなみの形成や、快適な歩行空間を確保することができます。

【事例】地区計画による住・商の共存

表参道地区は、日本を代表する商業地として有名ですが、地区計画により建物の高さの最高限度を30m、地階を除く階数の限度を8階としています。

また、隣接する神宮前一・三・四丁目地区、神宮前五・六丁目地区については、安心・安全で、住み続けられるまちと、商業との共存を図り、魅力的なまちを形成していくために、風俗営業などの店舗を規制するなどの地区計画が定められています。

- 神宮前一・三・四丁目地区地区計画
- 表参道地区地区計画
- 神宮前五・六丁目地区地区計画



渋谷区都市計画図

4-2 幹線道路沿道のまちづくり

2 ■大久保通り・目白通りについて

大久保通りと目白通りの歩道は、飯田橋駅を利用する多くの通勤・通学者により混雑しています。沿道に小学校や病院などの公共施設も立地していることから、誰もが安全に通行できる歩行空間の確保が必要です。

方向性1 ●安全でゆとりある歩行空間の確保

再開発等にあたり歩道状空地を設けたり、歩行者動線を分散させることで、ゆとりある歩行空間を確保します。また、車道幅員を縮小する、植樹帯を工夫するなどして、有効な歩道幅員を広げる検討を行う必要があります。

協議会等での意見より

- ▼ 植樹帯を入れ替える際は、維持管理のしやすい植樹の選定が望ましい
- ▼ 荷捌き車両が一時停車できるスペースを確保することで、歩行者と自動車の共存を図りたい
- ▼ 将来的には、駅から筑土八幡神社までを車両通行止めにするなど、歩行者により優しい通りとなることを検討したい
- ▼ 置き看板や自転車は敷地内に設置できるスペースを設けるなどして、歩道上に置かないようにする必要がある
- ▼ 夜間でも安全に歩行できるように、街灯を多く設置するなど工夫する必要がある
- ▼ 歩道の混雑を解消するために、歩行者動線を増やすとよい
- ▼ 五差路においては、目白通りに横断歩道を整備し、神田川沿いに歩行者動線を確保することで、歩行者交通量を分散させたい

■歩行空間確保の例



再開発等の際に、民地内に歩道状空地を設けることで歩行空間を確保



現在の目白通りの植樹帯 植樹帯をコンパクトなものに工夫し、ゆとりある歩行空間を確保



植樹帯をコンパクトにした例



歩道幅員を拡大することで歩行空間を確保(新宿区・三栄町)



整備後



■人にやさしく、うるおいあるまちなみづくりのイメージ



4-3 暮らしやすいまちづくり

1 ■生活道路について

地区内の生活道路の多くは、電柱や放置自転車等により歩行空間が狭められています。周辺に保育園や小学校が立地していることなどから、バリアフリーに配慮した、歩行者が安心して通行できる環境づくりが求められています。

■壁面後退により歩行空間を確保した例



方向性1 ●安全に通行できる空間の確保

地区計画等のまちづくりルールを定めるなど、沿道建物の建替えに合わせた歩行空間の確保を検討する必要があります。また、再開発等の際は、歩道状空地の整備や電柱の地中化を促進していきます。

協議会等での意見より

1 「筑士八幡神社」横の通り

- ▼ガードパイプが長いので、途中で切れ目があるとよい
- ▼沿道の建物の壁面や植込みを後退させ、歩行空間を広げたい
- ▼沿道に保育園があるので、一方通行にするか歩道を片側によせるなどして、歩行空間を広げたい

2 「新小川公園」横の通り

- ▼路側帯の真ん中に電柱があるので、無電柱化が必要
- ▼敷地内に荷卸しのスペースを確保して、道路上で荷卸し作業をしないようにしていきたい

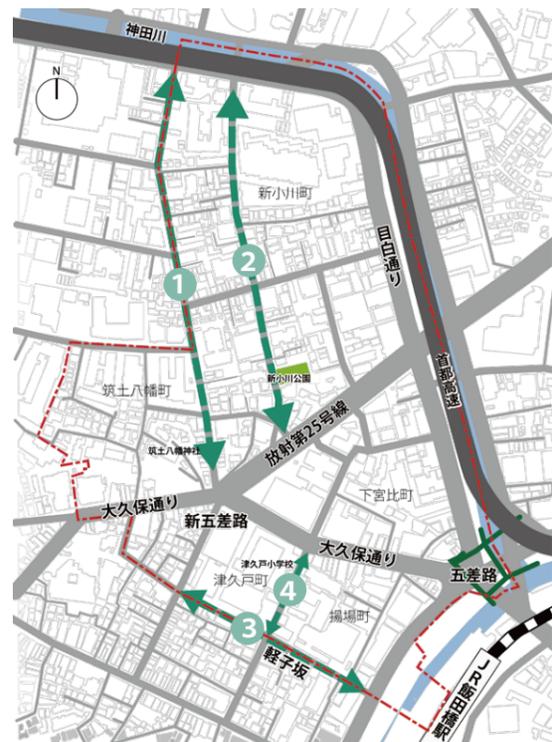
3 軽子坂

- ▼敷地内に駐輪スペースを確保して、歩道上に自転車を放置しないようにする
- ▼壁面後退部分に植樹プランターを置かないようにしてほしい

4 「津久戸小学校」横の通り

- ▼児童が多数通行するため、一方通行化して車道を狭め歩行空間を広げたい
- ▼路側帯の真ん中に電柱があるので、無電柱化が必要

■意見が出された生活道路の位置図



方向性2 ●安全な歩行環境の形成

関係機関と協力し、交通規制の周知を図るなど、歩行者が安心して歩ける環境を整えることが必要です。

協議会等での意見より

- ▼自動車の速度規制について、周知徹底をしていきたい
- ▼路面標示(ロードペイント)やイメージハンプなど、自動車のスピードを抑える工夫をすることで、交通安全に有効だと思う
- ▼近くに盲学校があるので、周辺に音の出る信号機を増やしていきたい
- ▼バリアフリーマップや点字ブロックの整備など、きめの細かい取組を進めるべき

■自動車速度対策の例



イメージハンプ(舗装の色や材料を一部分変え凹凸があるように見せかけたもの)
(出典)警察庁HP

2 ■暮らしやすさについて

地区内にはみどりを備えた公園や広場が少なく、地域のコミュニティの核となる、様々な世代の方が憩う空間や交流スペースの整備が求められています。あわせて、スーパーなど生活利便性を支える施設の充実も求められています。

方向性1 ●多世代が交流するみどり豊かな憩いの空間の整備

再開発等にあわせて、様々な世代の方が利用することを想定した、みどり豊かな公園や広場の整備が必要です。既にあるまちなかのスペースも積極的に活用し、まち全体に交流・憩いの場を設けることが望まれます。

協議会等での意見より

- ▼小さな子供が遊べる遊具のある公園や、高齢者がゆったりと過ごせるような公園がほしい
- ▼放射第25号線の緑地や公開空地にベンチを置くなどして、高齢者が休憩できるスペースを増やしたい
- ▼みどりも大切だが、高齢者にとって身近にトイレがあることも大切である

■共同住宅の建替えや開発にあわせて緑地や交流スペースを確保した例



シティタワー四谷(舟町)



新宿ガーデンタワー(大久保三丁目)



ラトゥール新宿(西新宿六丁目)

方向性2 ●生活利便性を支える施設の立地誘導

再開発等にあわせて、商業施設や医療福祉施設など、生活に直結する施設を誘導し、より暮らしやすい環境を整えることが必要です。

協議会等での意見より

- ▼身近な場所に、ある程度品揃えのあるスーパーがほしい
- ▼大きな病院はあるが、気軽にかかれる内科医が少ない
- ▼駅に近いので、保育園など子育て支援施設が必要だ
- ▼新小川町の以前商店街であった通りが、飲食店などでにぎわいのある通りになってほしい
- ▼住宅が多く、小学校や病院などの公共施設が立地する当地区に、風俗店などはふさわしくない

■開発にあわせて商業施設を整備した例



飯田橋プラーノ(千代田区)



イーストサイドタワー(新宿六丁目)



飯田橋ガーデンフラッツ(新小川町)

4-3 暮らしやすいまちづくり

3 ■ まちの歴史や文化、特色について

飯田橋駅東口周辺は歴史ある地区ですが、都市の成長に伴い、その特徴がみえにくくなっています。また、神田川と外濠のふたつの水辺環境を有するという特色もあります。まちの魅力を高めるには、歴史や文化、特色のある施設をまちづくりに活かしていくことが必要です。

方向性1 ● 歴史や文化を活かしたまちづくり

歴史ある建物を保全します。建替えの際は、建替え前の面影のある意匠を取り入れるなど、地区の歴史・文化を残していくよう努めます。また、歴史や文化と調和したまちなみづくりが望まれます。

協議会等での意見より

- ▼ 寺社や大名屋敷が多かった歴史を残していきたい
- ▼ 津久戸小学校などの歴史的な建物を活かすようにしたい
- ▼ 神楽坂地区と連続した、綺麗なまちなみにしたい
- ▼ オープンカフェなどくつろげる場所を増やして魅力的なまちなみにしたい

方向性2 ● まちの歴史や魅力の再確認と発信

まちの歴史や魅力を知り、発信する方法や体制づくりについて検討します。ワークショップを開催するなどして、まちの魅力を高めていきます。

協議会等での意見より

- ▼ まちの歴史を知らない住民が多いので、歴史がある地区であることを知らせていきたい
- ▼ 歴史的な建物等が残っているのではないので、歴史を掘り起こすという視点を重視すべき
- ▼ 地区の道路に、歴史や特色を活かした名称をつけ、サインを設置するなど来街者に分かりやすくしたい

方向性3 ● 神田川や外濠の水辺空間の再生

まちの魅力を高めるために、神田川や外濠の水辺空間を活かしたまちづくりが必要です。

協議会等での意見より

- ▼ 神田川や外濠の水をきれいにして、水辺に近づける場所を増やしたい
- ▼ 西口の外濠の眺望のように、東口にも水辺のひろがりのある景観が楽しめる場所があると良い
- ▼ 目白通り沿いの桜を増やして昔の神田川沿いの姿を再現したい
- ▼ 首都高速道路には、まちへ溶け込むような塗装や遮音壁の設置をして欲しい

■ まちの歴史を残す例



江戸城外堀跡

■ オープンカフェの例



池袋駅東口地区

■ まちの魅力の発信の例



外濠 (出典) 外濠再生懇談会フェイスブック

■ 水辺を活かした空間づくりの例



神田川万世橋付近

4 ■ 防災について

当地区は、狭い道路沿いに建物が密集していることや公園などのオープンスペースが少ないことなど、災害に対する課題を抱えています。また、区内で最も低い位置にあることから、水害対策が重要となっています。さらに、乗降客数の多い飯田橋駅に近接していることから、災害時の帰宅困難者対策も求められています。あわせて、災害時の体制づくりなども重要となります。

方向性1 ● 地震や水害などの災害に強いまちづくり

耐震改修や建替えによる建物の耐震化や再開発等に合わせたオープンスペースの確保など、地震や水害などの災害に強いまちづくりが必要です。

協議会等での意見より

- ▼ 新小川町では、細街路沿いに建物が密集しており、危険である。居住者が高齢化しており建て替えが進まず、道路も広がっていない
- ▼ マンションを建替える時には、空地を設けて緑化してほしい
- ▼ 近年の豪雨に対応した神田川の河川改修を早期に進め、水害を防止するように東京都に要請するべきだ
- ▼ 開発の際に雨水浸透施設を整備するとよい

方向性2 ● 安全に避難できる体制づくり

避難場所やブロック塀の位置など、安全に避難するための経路の確認が必要です。また、日頃から住民同士で声をかけあうなど、安全に避難できる体制づくりが必要です。

- ▼ 一時集合場所である新小川公園への避難経路を充実させたい

方向性3 ● 帰宅困難者の受け入れ対策

駅周辺の再開発等にあたっては一時滞在施設として利用できる空間や備蓄倉庫の確保が必要です。

協議会等での意見より

- ▼ 帰宅困難者が一時滞在できる場所を駅の近くに整備することが必要だ

■ 耐震改修の例



(出典) 新宿区

■ 開発にあわせて広場を確保した例



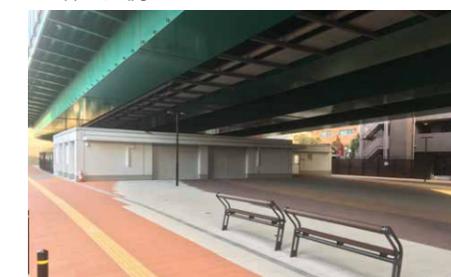
飯田橋サクラテラス(千代田区)

■ 避難経路の確保例



上落合中央・三丁目地区ガイドラインより

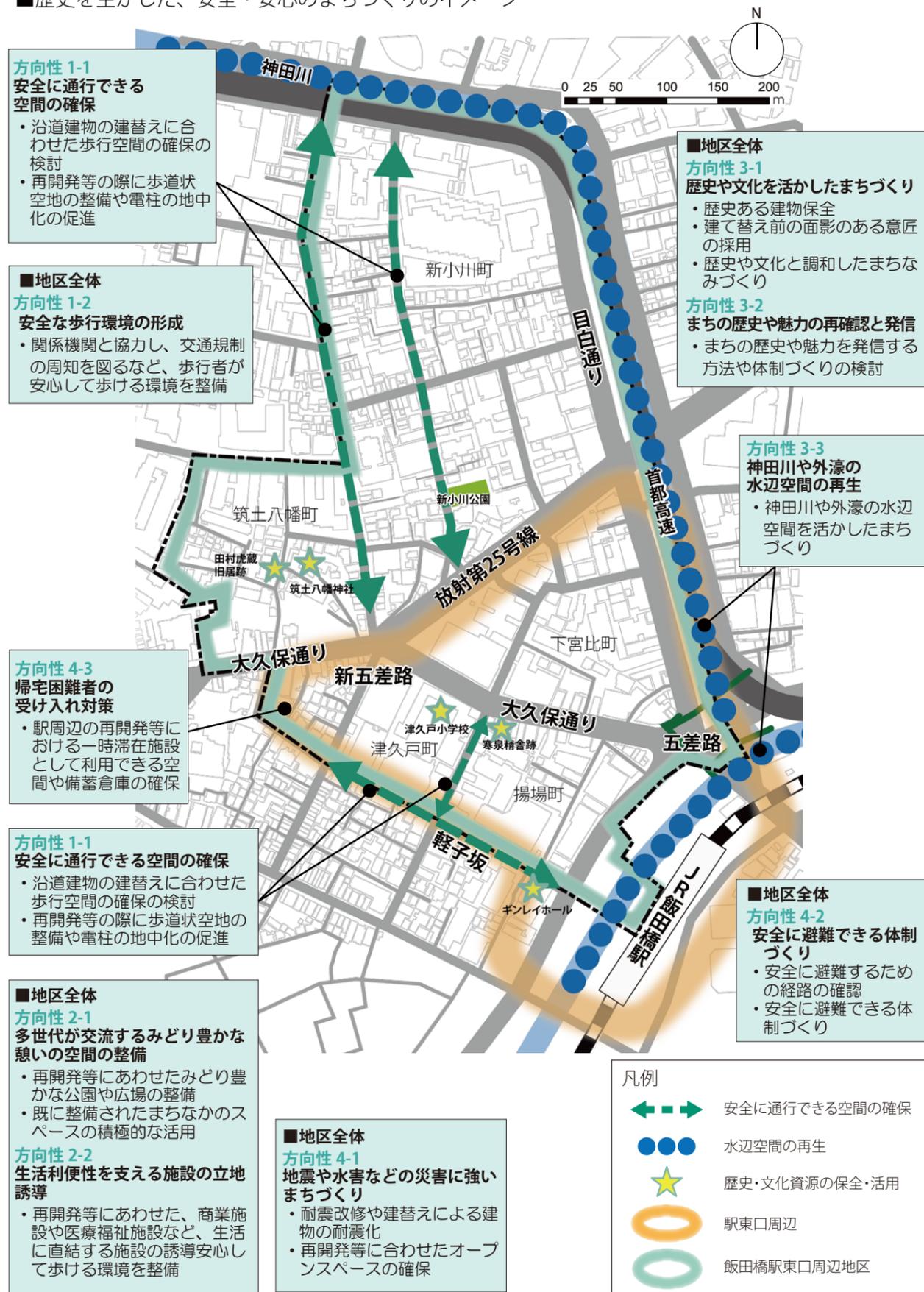
■ 駅整備にあわせて広場と防災倉庫を確保した例



中井駅

4-3 暮らしやすいまちづくり

■歴史を生かした、安全・安心のまちづくりのイメージ



1 ■まちづくり構想の実現に向けた取組

テーマ別まちづくりの方向性ごとに、構想の実現に向けた取組を整理しました。

まちづくりの方向性		短期(早急な取組)	中期	長期
飯田橋駅東口と周辺のまちづくり	飯田橋駅東口周辺の再整備	地域の良さを活かした、活気あふれるまちづくり 利便性と楽しさを両立した、魅力ある拠点づくり 地元主体で考え、関係機関等と連携しながら進めるまちづくり	飯田橋駅東口周辺の再整備に関する方針と手法の検討	
	飯田橋駅東口周辺の歩行者・交通動線	駅とまちをつなぐ機能の強化 誰でも簡単に乗換えができる動線の確保 周辺との回遊性の強化	整備に向けた調整	
幹線道路沿道のまちづくり	放射第25号線	歩行者が安全に横断できる動線の確保 統一感のあるまちなみの形成 道路空間の活用	横断動線の改善方針の検討 まちなみのあり方の検討 まちなみ形成の実現のためのルール策定 道路空間の活用検討	横断動線の改善に向けた調整 ルールの運用 道路空間の活用に向けた調整
	大久保通り・目白通り	安全でゆとりある歩行空間の確保	大久保通り・目白通りの歩行空間の改善方針の検討 改善に向けた調整	
暮らしやすいまちづくり	生活道路	安全に通行できる空間の確保 安全な歩行環境の形成	生活道路の歩行空間の改善方針の検討 改善に向けた調整	
	暮らしやすさ	多世代が交流するみどり豊かな憩いの空間の整備 生活利便性を支える施設の立地誘導	憩いの空間の整備・改善 生活利便性を支える施設の立地誘導	
	まちの歴史や文化、特色	歴史や文化を活かしたまちづくり まちの歴史や魅力の再確認と発信 神田川や外濠の水辺空間の再生	歴史や文化を活かすまちづくりの推進 活動内容・体制の検討 まちの歴史や魅力の発信	
	防災	地震や水害などの災害に強いまちづくり 安全に避難できる体制づくり 帰宅困難者の受け入れ対策	水辺空間の改善方針の検討 災害に強い建物づくり、オープンスペースの確保 避難体制の検討 避難体制の確立 帰宅困難者受け入れ対策の整備内容と体制の検討 整備・受け入れ体制強化	

1 ■上位計画

●新宿区まちづくり長期計画 都市マスタープラン 平成29 (2017) 年12月

【笹筒地域】
地域の将来像 『坂と水 歴史を綴る 粋なまち 笹筒』

飯田橋駅周辺地区 【賑わい交流の心】

・放射第25号線の開通や飯田橋駅ホームの安全対策などに対応し、賑わいと交通の拠点形成を進め、住宅と業務が調和した新しい魅力を周辺につなげるまちづくりについて、地域の住民等とともに検討します。
・飯田橋駅周辺は、業務・商業、宿泊、住宅、教育、医療施設などの集積を誘導し、駅改良や駅前広場などの整備による安全で快適な空間と、魅力的な拠点の創出を図ります。



●新宿区まちづくり長期計画 まちづくり戦略プラン 平成29 (2017) 年12月

【飯田橋東口周辺エリア】
戦略の方向性 『住・商業・業務が調和した賑わい創出の推進』

重点的な取組み

(1) 新たな拠点と基盤整備の推進

- ① 基盤整備を契機としたまちづくりの推進
- ② 放射第25号線沿道のまちづくりの推進

(2) 誰もが快適に移動できる趣のある空間形成

- ① ユニバーサルデザインまちづくりの推進
- ② 地域特性を生かし周辺の景観資源と調和した景観形成
- ③ 多様な来街者に配慮した空間の形成

(3) 安心して人々が集えるまちの創造

- ① 防災対策の充実
- ② 地域の魅力を紹介する情報の発信



●新宿区景観形成ガイドライン 平成28 (2016) 年4月

【飯田橋・大曲エリア】
景観形成の目標
『都心のオフィス街に相応しい快適で落ち着いたまちみへ』

- 1. 飯田橋駅前をオフィス街に相応しい落ち着いた景観にする
- 2. 目白通り沿いでは快適な歩行者空間をつくる
- 3. アイストップをいかした景観をつくる

【神楽坂(神社・寺町)エリア】
景観形成の目標
『寺社の雰囲気と調和した落ち着いたまちなみへ』

- 1. 神社の雰囲気と調和した落ち着いたまちなみをつくる
- 2. 寺町の雰囲気をいかしたまちなみをつくる
- 3. 神楽坂通り沿道の賑わいを保全する

【神楽坂(路地・横丁)エリア】
景観形成の目標
『高い生み出す伝統的な和の風情を感じる粋なまちなみへ』

- 1. 神楽坂通りのきめ細やかなまちなみを継承する
- 2. 伝統的な和の風情を感じる路地のまちなみを継承する
- 3. まとまりのある横丁景観をつくる

2 ■基礎データ

●建物用途



- 官公庁施設
- 教育文化施設
- 厚生医療施設
- 供給処理施設
- 事務所建築物
- 専用商業施設
- 住居併用建物
- 宿泊・遊興施設
- 独立住宅
- 集合住宅
- 専用工場
- 住居併用工場
- 倉庫運輸関係施設

(出典) 平成28年東京都土地利用現況調査

●新宿区地震ハザードマップ 平成29年6月版



- がけ・擁壁の位置 ※高さ1.5m以上のがけの概ねの位置
- 液状化の可能性のある地域 ※比較的地盤がゆるく、地下水位の高い砂状地盤で発生
- 急傾斜地崩壊危険箇所 ※がけ地の傾斜度が30°以上、がけ地の高さが5m以上のがけ地

●飯田橋駅周辺における他のまちづくり協議会等

飯田橋駅周辺基盤整備連絡調整会議

飯田橋駅周辺地域において、地元が行うまちづくりなどの取組に関連し、道路、広場、鉄道施設などの都市基盤施設について、連絡・調整を行うことを目的としています。

【メンバー】

東京都、新宿区、千代田区、文京区
※当面行政レベルでの検討を進め、方向性、考え方などが定まった段階で以下の鉄道事業者に参加を要請する
東日本旅客鉄道株式会社、東京地下鉄株式会社、東京都交通局

【活動経過】

平成22年2月17日発足、以降9回開催

飯田橋・富士見地域まちづくり協議会(千代田区)

平成17年8月から住民、大学、開発事業者・鉄道事業者等、地域の幅広い参画による「飯田橋・富士見地域まちづくり協議会」が組織され、開発がバラバラにならないように、地域の個性を活かしたまちづくりを進めるため、「飯田橋・富士見地域まちづくり基本構想」が策定されています。

【地域の将来像】

緑・水辺のやすらぎ、歴史・文化の風格、質の高い住環境、回遊と交流によるにぎわいなど、周辺地域と連携しつつ、多様な魅力の集積が相乗効果を発揮するまち

【活動経過(平成27年以降)】

平成27年7月13日以降、5回開催

3 ■飯田橋駅東口周辺地区まちづくり協議会会則

(名称)

第一条 この会は、飯田橋駅東口周辺地区まちづくり協議会（以下「まちづくり協議会」という。）と称する。

(目的)

第二条 津久戸町、筑土八幡町、新小川町、下宮比町、揚場町とその周辺について、地区の現状・課題を整理し、まちづくりの方向性や将来像を描き、当地区にふさわしいまちづくりを実現するために、まちづくり協議会を設立する。

(対象区域)

第三条 津久戸町、筑土八幡町、新小川町、下宮比町、揚場町の全域及び神楽河岸の一部を対象区域とする。

(まちづくり協議会の活動)

第四条 まちづくり協議会は、第二条の目的を達成するために次の各号に掲げる活動を行う。

- (1) まちづくりに関する情報の収集および関係住民等への情報提供
- (2) まちづくりに関する関係住民等の意見の聴取
- (3) まちづくりに関する構想、計画、提案等のとりまとめ
- (4) その他、まちづくりを進めるために必要な活動

(会員)

第五条 まちづくり協議会の会員は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 第三条で定める区域内の土地所有者、建物所有者、営業者、居住者
- (2) 会長の承認を得た者

(組織)

第六条 まちづくり協議会の組織は、次の各号のとおりとする。

- (1) まちづくり協議会には役員会をおき、まちづくり協議会の開催、議題及び運営等に関することを協議する。
- (2) まちづくり協議会の役員は、新小川町自治会、飯田橋自治会及び筑戸自治会からの推薦並びにまちづくり協議会での互選による。ただし、第五条第1号に属する者に限る。
- (3) 役員会は、会長1名、副会長2名及び幹事若干名の役員をもって構成する。
まちづくり協議会の会長及び副会長は、まちづくり協議会の役員による互選による。
- (4) まちづくり協議会の会長は、役員会の会長を兼ねる。
- (5) まちづくり協議会は必要に応じて分科会等を設置することができる。

(まちづくり協議会、役員会の開催等)

第七条 まちづくり協議会、役員会の開催は、次の各号のとおりとする。

- (1) まちづくり協議会及び役員会は、会長が必要に応じて召集する。
- (2) 会長は、必要に応じ、会員を役員会に出席させることができる。
- (3) 会長は、必要に応じ、会員以外の者をまちづくり協議会及び役員会に出席させることができる。

(事務局)

第八条 まちづくり協議会及び役員会を支援するために事務局を置き、事務局は新宿区都市計画部景観・まちづくり課とする。

(会則の改正)

第九条 この会則に変更の必要が生じたときは、役員会の手続きを経て改正する。

(その他)

第十条 この会則に定めのない事項は、会長が別に定める。

附則 この会則は、平成29年4月25日から施行する。

4 ■飯田橋駅東口周辺地区まちづくり協議会の活動経過

平成29年度からまちづくり協議会を8回開催し、地区の現状・課題を踏まえ、まちづくりの方向性について検討を進めてきました。第4回まちづくり協議会からは3つの分科会にわかれてテーマ別に検討を行いました。



5 ■まち歩きでの意見

平成29年10月24日(土)に開催したまち歩きにおいて、当地区の現況を実際に確認しました。



飯田橋駅及び駅周辺

- 交通利便性が良いにも関わらず、土地が十分に活用されていない
- 駅舎改良の際に景観が悪くならないように働きかける必要がある
- 後楽園方面、下宮比町に地下鉄の出口がほしい
- 地下鉄出入口付近のバリアフリー対策が必要
- 放置自転車がが多い
- ホームの隙間を改善してほしい
- ★飯田橋駅の改良でスペースを生み出し活用したい
- ★飯田橋駅に中央線快速をとめるようにしたい
- ★地下スペースを有効活用したい
- ★地下鉄の出口を増やしてほしい
- ★飯田橋駅周辺は商業高層ビルに建て替えてほしい



五差路

- 歩道橋は災害時危険である
- 歩道橋を含めたバリアフリー対策が必要
- 歩道橋の幅が狭く歩きづらい
- 普段は歩道橋を使う人は少ない
- 自転車道路を通行する歩行者が多い
- 駐輪場のボリュームが小さい
- 通勤時間は人であふれているため対策が必要
- ★人口地盤にして広場を作ってほしい
- ★歩道橋よりも地下道を作ってほしい
- ★歩道橋には屋根を設置してほしい
- ★車を立体交差にしてほしい



軽子坂

- 神楽坂の繁華街に近い
- 車の交通量が減った
- ガードパイプがあり安全
- 放置自転車がが多い
- 駐停車車両(荷捌き車両)が多い
- 夜はハイヤーが停車しており、混雑している
- ガードパイプがかえって歩道を狭くしている
- 坂道が辛く、休むスペースがほしい
- ★駐輪場が必要



外堀通り

- 歩道が広く、理想的な歩行者空間となっている
- 緑が少ない
- 自転車専用レーンに路上駐車が多い



住環境

- 職住が共存できる地域である
- 治安が良い
- 住民の顔が比較的に見える
- 駅が近く、多くの人で賑わいがある
- 昔から人が集まっているまちである
- 若者の居住者が増えてきた

- 治安面で関心がある
- みどりや公園、オープンスペースが少ない
- 筑土八幡神社の階段の途中にある遊び場の入口を、階段の上にも作ってほしい
- 若い世代が生活しにくい
- 駅周辺は住民が少なくお祭りが寂しい

商業・にぎわい

- 飲食店の選択肢が多い
- 地元の人が入りやすい飲食店が多い
- 病院、クリニック、薬局が多く、消防署も近く消費者にとっては安心
- 神楽坂に比べて魅力的な店舗が少ない
- 日用品、雑貨、食料品の購入に不便
- ★商店が増えてほしい
- ★小学館跡地開発によって、人の流れが変わるのではないかと

住宅地区内の道路

- タクシーが多くて便利
- 狭い道路に電柱とガードレールがあるため歩きにくい
- 朝は車が渋滞している
- 工場の荷下ろし車があり危険である
- 歩道が狭く、通勤・通学時危険
- 夜は暗く危険
- ★無電柱化できないか
- ★歩道空間を確保するために、建物をセットバックするなど のルールづくりが必要



放射第25号線

- 見通しが良く信号間隔も長くなった
- 緑の植樹など景観上の工夫が必要
- 信号無視をして横断する人がいる
- 人、車ともに利用しづらい
- 車線間で高低差があり危険
- 地域が分断された
- 動線が変わり飯田橋駅まで遠くなった
- 車の交通量が少ない
- ★沿道に賑わいがほしい
- ★お店が立ち並ぶ通りになってほしい
- ★高さ制限を緩和してほしい
- ★植込みがある場所を、休憩できるような広場や遊べる空間に活用したい
- ★緑地を防災場所としての有効活用を図ってほしい



目白通り

- 歩道が狭い
- 歩道が傾斜して歩きにくい箇所がある
- 建物の駐車場の出入口が多く危険
- 平日は通勤者が多く、ものすごく混雑する
- 側溝の無い場所があり、雨量によっては水が溢れる



大久保通り

- 通勤者・通学児童・JCHOのリハビリの方が多く歩道が狭い
- 歩道が車道側に傾斜しており歩きづらい
- 歩道に看板がはみ出ており歩行空間を狭めている
- 街灯が少なく、夜は暗い
- 津久戸小学校入口の前にゆとり空間がないため、小学生が道路を飛び出してしまい危険
- 舗装が悪く歩きづらい
- バリアフリー対策が遅れている
- 傾斜がきつい
- 路上駐輪が多い
- ★新五差路より神楽坂側の沿道は商店環境より住環境を優先したい
- ★樹木をなくして歩道を広くしたい



新五差路

- 殺風景
- 信号待ちが長く信号無視する人が多い
- 信号が変わるのが早く、一度で渡り切れない
- 車や自転車が右左折時に歩行者を確認しない
- 通学路としての安全性を確保する必要がある
- タバコのポイ捨てが多い
- ★子供用の歩道橋を作ったらどうか
- ★スクランブル交差点にしたい



防災

- 災害時に逃げる場所がない
- 広域避難場所まで遠いのに、近くに公園が少ない
- 新小川公園の東側にも出入口がほしい
- 神田川周辺では過去に床上浸水被害があった

文化

- 筑土八幡神社は春は桜がきれいでありよい
- 日仏学院が近く、フランス文化になじみ深い
- 神楽坂、筑土八幡神社、理科大など文化的な面がある

建物

- 敷地が狭く、古くなった建物の建て替えができない
- 道路幅員が狭く建て替えができない

6 ■まちづくり構想（案）に関するアンケート調査結果の概要

●調査概要

【調査期間】平成31年1月16日(水)～平成31年1月31日(木)
※締切は31年2月22日(金)まで延長

【調査対象】飯田橋駅東口周辺地区に
①土地・建物をお持ちの方
②お住まいの方
③営業されている方

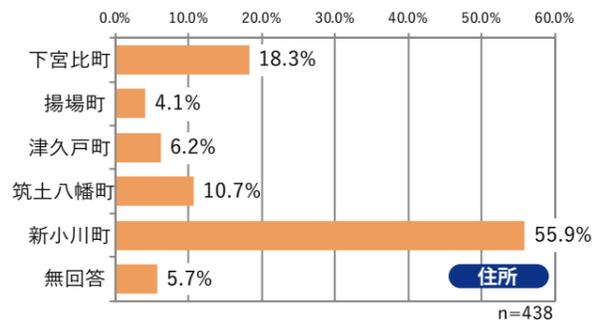
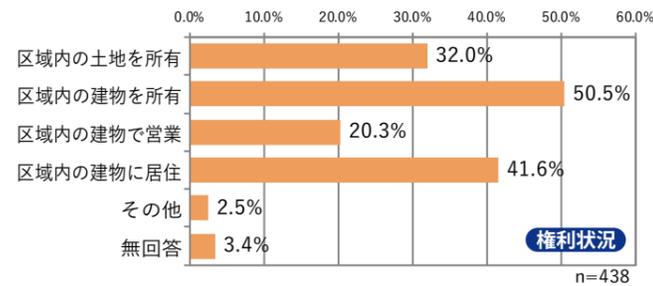
【調査方法】地区内：ポスティング配布、郵送回収
地区外：郵送配布、郵送回収

【配布件数】5,195件

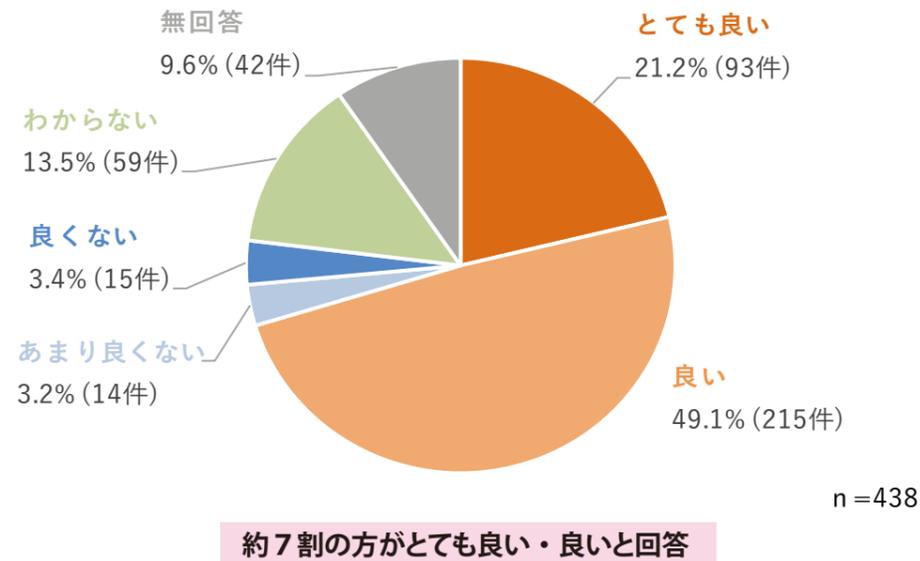
【回収数】438件

【回収率】8.43%

●回答者の属性



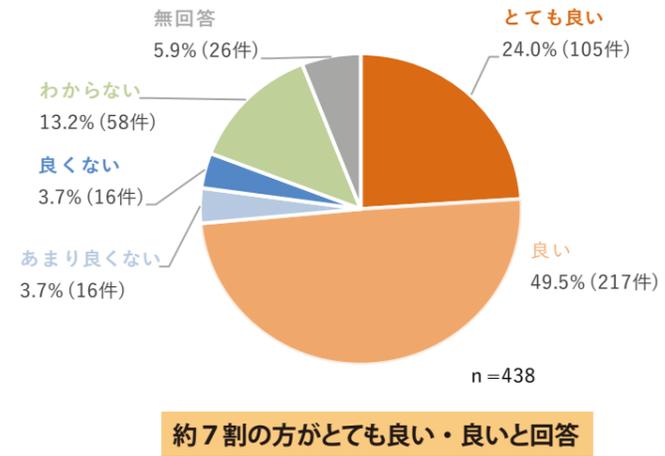
●まちづくり構想（案）の全体の感想



主な意見

- ・長い時間をかけて大変でしょうが良いと思う。
- ・地下鉄やJRの駅が5路線あるにも関わらず、あまり発展していない。オシャレな街並にしてほしい。
- ・商業(オフィス)と住居のバランスが良いエリアなので、共生出来ると、更に都市としての機能が向上しそう。
- ・建物内の動線やバリアフリーを注意している点は良いと思う。
- ・現状抱えている地区の課題とまちづくりの方向性がよく理解できた。
- ・課題が多岐に渡り、発散しているように感じた。
- ・方向性に異論はないが、抽象的なためわかりにくく感じる。
- ・個人所有の不動産の使用を制限する案については必要性を慎重に検討すべきである。

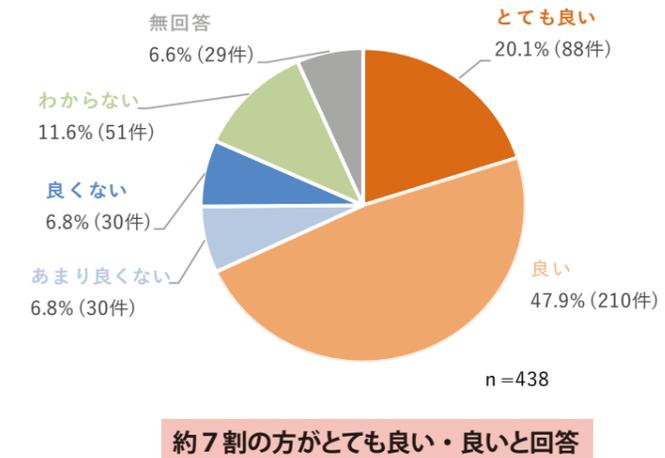
●飯田橋駅東口と周辺まちづくりの方向性の感想



主な意見

- ・交通の便が良いのが飯田橋の良い所なので、そこを伸ばしてほしい。
- ・今は飲食店がメインなので、ショッピング店舗の誘致向上もお願いしたい。
- ・津久戸小、JCHO病院をどう活かして計画していくか検討すべきと思う。
- ・ペDESTリアンデッキや地下通路設置には賛成するが高齢者のために昇り降りのことを第一に考えるべき。

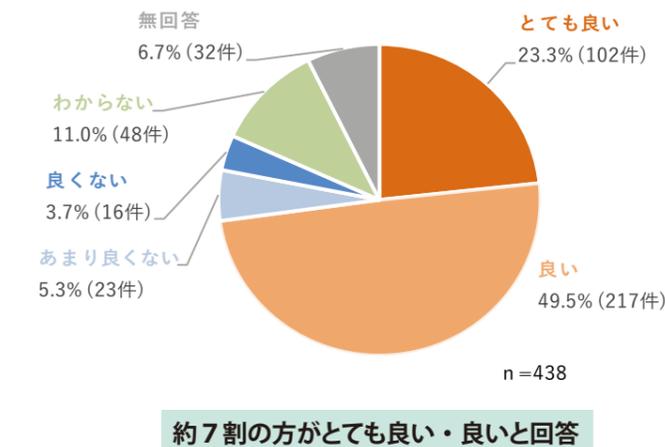
●幹線道路沿道のまちづくりの方向性の感想



主な意見

- ・新五差路をスクランブル交差点にしてほしい。
- ・ソフト面もあわせて対策をとってほしい。
- ・放射第25号線は公共の場として盛り上がり、歩道幅も広いので、フリマなどのイベントもできるのではないかと。
- ・目白通り、大久保通りは狭くて歩きにくい、歩行者空間の確保は良いことである。
- ・植樹帯をコンパクトにする案は、早期に実行すべき。
- ・大久保通り・目白通りの歩道が広がると大変ありがたい。ベビーカーでの移動が歩行者の多い時に非常にストレス。

●暮らしやすいまちづくりの方向性の感想



主な意見

- ・もともと交通の利便性の良い地域なので、新しいまちづくりで更に良い住宅エリアになると思う。
- ・高齢者や障害者に配慮した安心安全なまちはおのずと人が集まると思う。
- ・歩行者空間の確保は優先されるべき。
- ・安全に配慮するとともに、みどり豊かなまちとなれば素晴らしい。
- ・ぜひ水辺空間を生かしたまちづくりをして欲しい。
- ・何よりも安全、安心、災害への備えが第一である。

